

平成 29 年 2 月 提出

大船渡市議会議長 様

市議会議員 森 操

研修（視察）報告書

研修主催者/研修項目/研修場所

- (1) 研修項目：「知の集積における増養殖関係のプラットフォーム立ち上げについて」
会合名：国立研究開発法人水産研究・教育機構との懇談会
主催者：全国水産技術者協会
場 所：みなとみらいクイーンズタワー（横浜）B 7 階H会議室
日 時：平成 28 年 8 月 8 日（月）
- (2) 研修項目：「国立研究開発法人水産研究・教育機構への表敬訪問について」
応対者：宮原正典理事長、本部研究推進部の荒井大介様
場 所：みなとみらいクイーンズタワーB 1 5 階
日 時：平成 28 年 8 月 9 日（火）

報告

(1) 知の集積における増養殖関係のプラットフォーム立ち上げについて

国立研究開発法人水産研究・教育機構は、水産庁の実質的な水産研究・大学教育等を実施している所である。この機構が国の水産研究開発行政の最前線であり、その動向を調査する事は、水産業を基幹産業とする大船渡市にとり重要と思われる。

これまで国の水産研究はほぼ半世紀の間、栽培漁業に重点を置いてきたが、現在は増養殖漁業の研究開発に重点を移行しようとしており、現場のニーズに即した安全で収益性の高い水産物の生産に係る事業化を目指している。そして、民間企業や漁協等と水産研究機関とのマッチングを通じて、産学連携の強化を図って現場に先端技術を活用できるようにしていくシステム作りが重要であり、地域の漁村が活性化していくような仕組みにも配慮した活動を展開していくことを考えているとして、全国水産技術者協会の協力をお願いしたい旨の意向が示されました。

(2) 国立研究開発法人水産研究・教育機構への表敬訪問について

初めての訪問でありましたが、前日の懇談会の担当理事からのご紹介で宮原理事長と本部研究推進部の担当と面会する事ができました。その中で、岩手県の水産問題をお伺いした所、岩手県から「サケの回帰率の調査」や「アワビの放流環境調査」などの要望があり進めているとの事でした。また、シラスウナギの完全養殖の見通しについてお伺いした所、三重、宮崎、伊豆の国の水産研究所で大量生産の技術開発段階であるが、その成否は官民連携が必要な旨の示唆がありました。

以上